

BUSINESS REPORT 2023

第67期 中間報告書

2022.4.1～2022.9.30



株式会社田中化学研究所

株主の皆様へ

平素より格別のご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

当社の第67期中間期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の事業の概況及び決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月

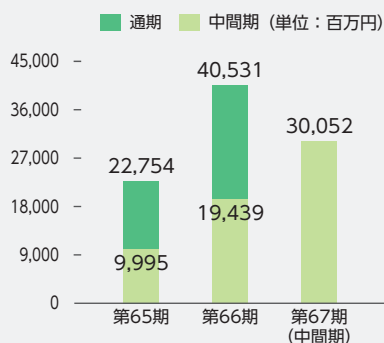


株式会社田中化学研究所
代表取締役 社長執行役員

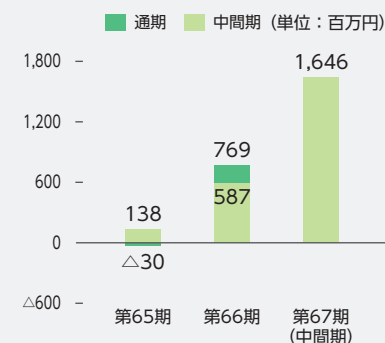
横川 和史

財務ハイライト

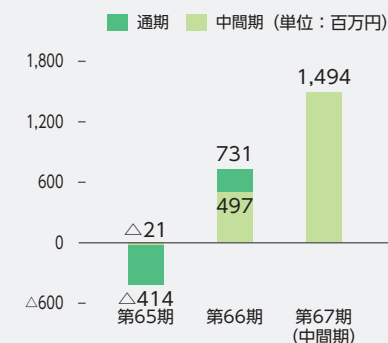
売上高



経常利益



中間期(当期)純利益



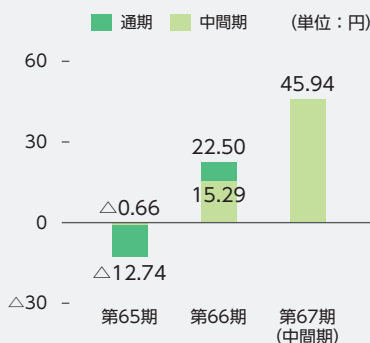
事業の概況

当中間期累計期間における二次電池業界は、世界的に脱炭素社会に向けた取組みが重視される中、各自動車メーカーはEVへのシフトを鮮明にし、その開発・展開を急速に進めております。米国ではインフレ抑制法（IRA）が可決されるなど、官民一体となった競争力強化に向けた取組みはより一層加速し、自動車電動化の動きは活発化しております。また、電池の資源材料の価格は、足下は若干落ち着きを見せているものの、依然として高い水準で推移いたしました。

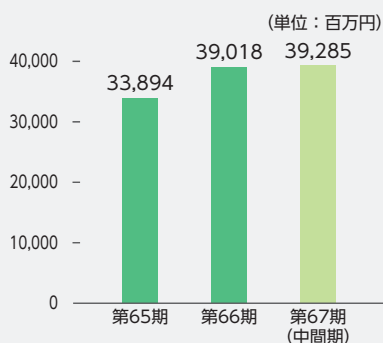
このような市場環境の中、当社といたしましては、年間約5万トン（リチウムイオン及びニッケル水素電池向け製品合計）の生産能力の本格稼働に向け、受注の安定化を図るべく顧客等取引先との新たな関係構築や安定安全な生産体制の構築など段階的に準備を行っております。

足下の業績をみると、期初の予想通り生産能力に対する稼働率は5割程度と依然として低く推移していることに加え、苛性ソーダをはじめ各種原材料等の価格上昇や電気料金の高騰、さらには減価償却費及び労務費のコスト先行で業績採算面でも期初の予想通り厳しい状況となっております。一方で、2019年10月に契約締結いたしましたノースポルトに対する技術支援については第1四半期に5億円の収益計上をしております。また、当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場が、足下は若干落ち着きを見せているものの、依然として高い水準で推移し、それらが反映される売上が増加するとともに利益面で大幅な増加要因（16億円：ご参考（相場関連損益）に記載）となっております。

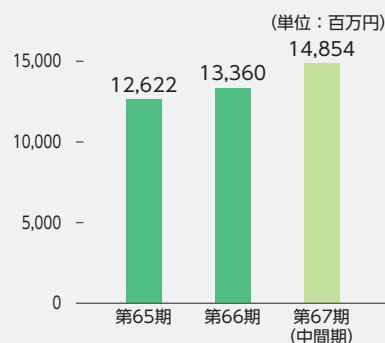
1株当たり中間期(当期)純利益



総資産



純資産



ます。

以上の結果、売上高30,052百万円（前年同四半期比54.6%増）、営業利益1,822百万円（前年同四半期比193.9%増）、経常利益1,646百万円（前年同四半期比180.4%増）、四半期純利益は1,494百万円（前年同四半期比200.4%増）となりました。

主要な製品用途別の販売数量の概況は以下のとおりです。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

[リチウムイオン電池向け製品]

前年同四半期比で7.2%の減少となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- ・ 車載用途（割合82%）は、顧客ごとの販売数量の増減の影響により、前年同四半期比で7.2%の減少となりました。
- ・ 民生用途（割合18%）は、最終製品の需要減少により前年同四半期比で6.9%の減少となりました。

[ニッケル水素電池向け製品]

前年同四半期比で10.2%の減少となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- ・ 車載用途（割合100%）は、世界的な半導体や部品不足による自動車減産の影響で主要顧客からの受注が減少し、前年同四半期比で9.8%の減少となりました。

ご参考

(ニッケル国際相場：円換算) (単位：円/kg)

| | 4~6月平均 | 7~9月平均 | 10~12月平均 | 1~3月平均 |
|----------|--------|--------|----------|--------|
| 2023年3月期 | 3,781 | 3,075 | — | — |
| 2022年3月期 | 1,917 | 2,126 | 2,274 | 3,069 |

(コバルト国際相場：円換算) (単位：円/kg)

| | 4~6月平均 | 7~9月平均 | 10~12月平均 | 1~3月平均 |
|----------|--------|--------|----------|--------|
| 2023年3月期 | 10,997 | 8,169 | — | — |
| 2022年3月期 | 5,128 | 6,014 | 7,535 | 9,264 |

※ニッケル LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均
コバルト LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

(相場関連損益)

営業利益に含まれている、主原料の購入から製品の払出までの期間の主原料の相場変更等に由来する相場関連利益（損失は△）は、右記のとおりです。

| | 前中間期 | 当中間期 | 前期 |
|---------|------|------|----|
| (単位：億円) | 5 | 16 | 10 |

私たちは「正極材料メーカー」です。

主要製品である正極材料は、リチウムイオン電池やニッケル水素電池などの「高性能二次電池」に使用されています。当社の開発した正極材料を使った製品が街中にあふれ、現代社会のあらゆる場所で活躍しているのです。

当社の主力製品



三元系正極材料



ニッケル系正極材料



水酸化ニッケル



水酸化ニッケル
(コバルトコート品)

より良い電池を生み出すために、当社の社員は日進月歩で進化する高性能な正極材料の開発・製造に挑んでいます。

二次電池

リチウムイオン電池

ニッケル水素電池

二次電池とは？
充電することで電気を蓄え、繰り返し使用できる電池のことです。

最終製品イメージ



タブレットPC・ノートパソコン・
電気自動車・電動工具など



ハイブリッドカー・
乾電池型二次電池など

暮らしに欠かせないスマートフォンを毎日のように充電して使えるのは、二次電池があるから。
ノートパソコンや電気自動車も二次電池が原動力になっています。

私たちは**先進テクノロジーを支える存在**です。

テクノロジーの進化に伴い、当社が開発した正極材料を使った製品はますます街中にあふれていきます。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 前期末 (2022年3月31日) | 当中間期 (2022年9月30日) |
|---------------|---------------------|----------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 17,950 | 18,934 |
| 現金及び預金 | 1,303 | 3,696 |
| 売掛債権 | 8,797 | 7,322 |
| 棚卸資産 | 7,383 | 7,888 |
| その他 | 466 | 28 |
| 固定資産 | 21,067 | 20,350 |
| 有形固定資産 | 20,862 | 20,180 |
| 無形固定資産 | 6 | 8 |
| 投資その他の資産 | 198 | 162 |
| その他 | 198 | 162 |
| 貸倒引当金 | △ 0 | △ 0 |
| 資産合計 | 39,018 | 39,285 |

| 科目 | 前期末 (2022年3月31日) | 当中間期 (2022年9月30日) |
|----------------|---------------------|----------------------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 14,727 | 14,265 |
| 仕入債務 | 8,918 | 9,984 |
| 借入金 | 3,800 | 3,000 |
| その他 | 2,008 | 1,281 |
| 固定負債 | 10,930 | 10,165 |
| 借入金 | 10,800 | 10,050 |
| その他 | 130 | 115 |
| 負債合計 | 25,657 | 24,430 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 13,335 | 14,829 |
| 資本金 | 9,155 | 9,155 |
| 資本剰余金 | 6,662 | 6,662 |
| 利益剰余金 | △ 2,480 | △ 985 |
| 自己株式 | △ 2 | △ 2 |
| 評価・換算差額等 | 24 | 24 |
| その他有価証券評価差額金 | 24 | 24 |
| 純資産合計 | 13,360 | 14,854 |
| 負債純資産合計 | 39,018 | 39,285 |

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

| 科目 | 前中間期 (自2021年4月1日 至2021年9月30日) | 当中間期 (自2022年4月1日 至2022年9月30日) |
|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高 | 19,439 | 30,052 |
| 売上原価 | 17,876 | 27,012 |
| 売上総利益 | 1,562 | 3,040 |
| 販売費及び一般管理費 | 942 | 1,217 |
| 営業利益 | 620 | 1,822 |
| 営業外収益 | 9 | 3 |
| 営業外費用 | 42 | 179 |
| 経常利益 | 587 | 1,646 |
| 特別利益 | 0 | 2 |
| 特別損失 | 0 | 0 |
| 税引前四半期純利益 | 586 | 1,648 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 88 | 169 |
| 法人税等調整額 | 0 | △ 15 |
| 四半期純利益 | 497 | 1,494 |

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

| 科目 | 前中間期 (自2021年4月1日 至2021年9月30日) | 当中間期 (自2022年4月1日 至2022年9月30日) |
|----------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| I 営業活動による キャッシュ・フロー | 2,339 | 5,214 |
| II 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 1,676 | △ 1,361 |
| III 財務活動による キャッシュ・フロー | △ 251 | △ 1,588 |
| IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | △ 10 | 127 |
| V 現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少) | 400 | 2,392 |
| VI 現金及び現金同等物の 期首残高 | 2,529 | 1,303 |
| VII 現金及び現金同等物の 四半期末残高 | 2,930 | 3,696 |

業績予想と今後の見通し

(単位：百万円)

| | 前期 | 当期予想 |
|-------|--------|--------|
| 売上高 | 40,531 | 60,000 |
| 営業利益 | 825 | 1,600 |
| 経常利益 | 769 | 1,400 |
| 当期純利益 | 731 | 1,000 |
| 設備投資 | 2,081 | 1,400 |
| 減価償却費 | 1,703 | 2,200 |

役員の状況 (2022年10月1日現在)

| | | |
|-----------------|--------|------------------------------|
| 代表取締役 社長執行役員 | 横川 和史 | |
| 取締役 | 久野 和雄 | |
| 取締役 | 小坂 伊知郎 | |
| 取締役 | 田中 浩 | |
| 取締役 (監査等委員) | 大嶋 哲夫 | |
| 取締役 (監査等委員) | 増田 仁視 | |
| 取締役 (監査等委員) | 井上 毅 | |
| 常務執行役員 | 山崎 龍太 | (総務人事、購買物流、情報開示担当) |
| 常務執行役員 | 嶋川 守 | (製造、製造管理、設備、品質管理担当 兼 品質管理部長) |
| 執行役員 | 田中 学 | (営業、原料、IR担当) |
| 執行役員 | 中根 堅次 | (研究開発、製造技術、品質保証担当) |
| 執行役員 | 小林 芳彰 | (企画、経理担当 兼 企画部長) |

対処方針等

当社は中長期的な需要増に対応するため、数年かけてインフラを含めた設備増強投資と設備稼働に向けた組織人員体制の強化で、リチウムイオン及びニッケル水素電池向け製品の増産体制の構築に取り組んでおり、年間約5万トンの生産能力となっております。これらの生産能力を最大限に活用し、既存顧客への拡販及び新規顧客に対して供給体制の最適化を図り、設備の本格稼働へ向けて段階的に準備を行っております。また、生産性、品質安定性、設備負荷等を考慮した生産ラインの最適化を図ることでコスト競争力を高めた強靱な製造力を追求し、製品開発を含め顧客のニーズにそった適時的確な提案をまいります。

株式の状況 (2022年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数 普通株式 47,000,000株
- ②発行済株式の総数 普通株式 32,533,000株
- ③株主数 16,941名
- ④大株主の状況(上位10名)

| 株主名 | 所有株式数(株) | 持株比率(%) |
|--|------------|---------|
| 住友化学株式会社 | 16,407,200 | 50.43 |
| 田中 保 | 1,264,200 | 3.89 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 460,000 | 1.41 |
| INTERACTIVE BROKERS LLC | 324,700 | 1.00 |
| 田中 浩 | 300,000 | 0.92 |
| 株式会社福井銀行 | 300,000 | 0.92 |
| 住友生命保険相互会社 | 210,000 | 0.65 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019 | 201,186 | 0.62 |
| 田中 学 | 171,300 | 0.53 |
| 田中 健 | 171,000 | 0.53 |

(注) 持株比率は自己株式(1,193株)を控除して計算しております。

株主メモ

| | |
|--------------|---|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel：0120-094-777（通話料無料） |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所（スタンダード市場） |
| 公告方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL https://www.tanaka-chem.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告いたします。） |

会社概要

| | |
|--------|---|
| 商号 | 株式会社田中化学研究所 |
| 設立 | 1957年12月 |
| 資本金 | 9,155,228千円 |
| 主な事業内容 | 二次電池用の正極材料の製造販売 |
| 従業員数 | 342名 |
| 住所 | 〒910-3131 福井県福井市白方町45-5-10 |
| 電話番号 | 0776-85-1801（代） |
| ホームページ | https://www.tanaka-chem.co.jp/ |



最新の当社IR情報等をご
いただけます。

（2022年9月30日現在）

株主総会資料の電子提供制度と当社の対応について

●制度の概要

会社法改正により、来年の株主総会から株主総会資料（以下、「招集のご通知」と記載）の電子提供制度が開始されます。書面でご送付していた「招集のご通知」は、原則WEBでのご提供となります。継続して書面でのお受け取りを希望される場合、書面交付請求が必要となります。

●当社の対応

当面、すべての株主様に「招集のご通知」の書面をご送付する予定です。

制度に基づき書面交付請求をされた場合においても、お送りする書面は同一ですので、書面交付請求を行っていただく必要はございません。

株主総会資料の電子提供制度に
関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-696-505（受付時間：土・日・祝日を除く平日9：00～17：00）